

議事概要記録

開催日時	令和4年11月12日(土) 13:00~15:00		開催場所	済生会和歌山病院7階 多目的ホール&Web
会議種別	令和4年度 第6回理事会		議長	神藤 洋次
			書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、秋田 豊和、 中尾 光孝、葛原 和紀、森下 陽子、大前 嘉良、山本 須美子、藺田 豊、 橋本 安貴子、山中 拓哉、竹中 正人、藤谷 泰明 計16名			
欠席者 <敬称略>	田原 靖子	オブザーバー		
次第				
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長報告</li> <li>2. 令和4年度第5回常務理事会報告</li> <li>3. 事務局報告</li> <li>4. 学術部報告</li> <li>5. 経理部報告</li> <li>6. 各種委員会報告             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 公益事業活動</li> <li>② 定款・渉外</li> <li>③ 災害対策委員会</li> <li>④ 精度管理</li> <li>⑤ 会誌編集</li> <li>⑥ ホームページ</li> <li>⑦ 会報</li> <li>⑧ 月例行事予定表</li> </ol> </li> <li>7. タスク・シフトシェア指定講習会</li> <li>8. 第42回和歌山県医学検査学会</li> <li>9. 第62回近畿支部学会</li> <li>10. その他</li> </ol> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精度管理報告会行動費について</li> </ul>			
決議事項 及び 継続事項	<p>開催に先立ち田中会長よりご挨拶。 コロナ感染の再流行が懸念される中、対面での理事会開催ができたことに感謝いたします。今後の感染拡大は未知数ですが引き続き技師会運営へのご尽力をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;"><b>報告事項</b></p> <p><b>1. 会長報告</b> 日臨技・近畿支部について以下のとおり報告あり。</p>			

## 日臨技関係

9月23日	近畿支部幹事会	ステーションコンファレンス東京
9月24日	日臨技理事会	ステーションコンファレンス東京
9月13日	学術奨励賞推薦依頼	学術奨励賞推薦WG
9月14日	認定救急検査技師制度試験委員依頼	認定技師制度WG
10月2日	政策渉外関連事項等における現状把握のための 調査協力施設選定依頼	日臨技渉外
10月30日	タスクシフト/シェア実技講習会	和臨技
11月2日	第72回日本医学検査学会災害フォーラムシンポジスト依頼	群馬県技師会
11月2日	持続可能な薬剤耐性対策に向けた現行体制の 改革に向けた意識調査依頼	AMRアライアンスジャパン
11月22日	近畿支部幹事会	ステーションコンファレンス川崎
11月23日	日臨技理事会	ステーションコンファレンス川崎
12月3-4日	日臨技近畿支部医学検査学会 拡大近畿支部幹事会	神戸常盤大学渉外関連

## 和臨技関連

10月中旬	会報発行	会報編集
10月29日	全国検査と健康展 和歌山会場	イオンモール和歌山

## 渉外関連

10月12日	VCT中止連絡	和歌山県健康推進課
10月13日	第27回和歌山県病院協会学術大会書面決議	和病協
10月30日	一般社団法人和歌山県診療放射線技師会 創立70周年記念式典	アバローム紀の国
11月6日	和歌山県病院協会学術大会・病院大会	アバローム紀の国

●政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設選定依頼について

### 【選定していただく施設について】

1. 各都道府県技師会において、4施設を選定し、登録していただく。
2. 4施設の内訳は、以下として各1施設を登録していただく。

- ・大病院（500床以上）
- ・中病院1（200床以上～500床未満）
- ・中病院2（100床以上～200床未満）
- ・小病院（100床未満）

3. 登録期間は、令和4年10月から1年間とする。

4. 想定される調査

- ・隔年で実施する診療報酬に関するコスト調査

（日本臨床検査振興協議会診療報酬改定小委員会実施のコスト調査、日

臨技診療報酬委員会実施のコスト調査等)

- ・ 7月に実施した「需要と供給」調査
- ・ SARS-CoV-2関連検査・検体採取等の実施状況調査
- ・ その他、政策渉外部や日臨技が必要と認めた調査

以上の依頼に対して、常務理事会内での検討の結果以下施設にて選定した旨の報告。

施設内訳	施設名	病床数
大病院（500床以上）	和歌山県立医科大学附属病院	800
中病院1（200床以上～500床未満）	独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院	303
中病院2（100床以上～200床未満）	有田市立病院	157
小病院（100床未満）	医療法人千徳会 桜ヶ丘病院	99

## 2. 令和4年度第4回常務理事会報告

・ 臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会  
→ 第2回講習会 10月30日（日）に無事開催終了。詳細については理事会にて森下理事より報告の予定。

田中会長より、研修会施設として看護協会会長より看護協会施設使用についてご提案頂いた旨の報告あり。（施設費用無料？）

【公益財団法人 看護協会】 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂 17 番地

・ 2023年（令和5年）近畿支部医学検査学会  
→ 本日の実行委員会にて詳細進捗報告の予定。

・ 第42回和歌山県医学検査学会  
→ 開催準備の進捗について確認。詳細は理事会議題内にて確認の予定。

・ その他

HP上の各種委員会名簿等の更新が滞っているのでは、との指摘あり

## 3. 事務局報告

9月22日 和臨技 臨床検査精度管理調査における参考値提供依頼  
趣意書の発行について 血液分野・臨床化学分野

9月30日 和臨技 臨床検査精度管理調査における参考値提供依頼  
趣意書の発行について 免疫血清分野

10月2日 政策渉外関連事項等における現状把握のための  
調査協力施設選定依頼 日臨技

10月4日 令和4年度医療従事功労者候補者推薦書提出

和歌山県

10月11日	日臨技貢献賞（個人）の推薦について	日臨技
10月13日	令和4年度 会誌「和臨技」広告掲載募集	和臨技賛助会員
10月13日	令和4年度 和歌山県知事表彰辞退	和歌山県
10月17日	臨床衛生検査業務功労者の厚生労働大臣表彰実施について	日臨技
10月24日	令和4年度 都道府県技師会リーダー育成研修会の開催について	日臨技
10月24日	日本医療マネジメント学会 第17回和歌山支部学術集会 後援名義 日本医療マネジメント学会 和歌山支部学術集会	事務局
10月29日	全国検査と健康展 イオンモール和歌山	和臨技
10月30日	タスクシフト／シェア厚生労働省指定講習会 和歌山商工会議所	和臨技
11月2日	持続可能な薬剤耐性対策に向けた現行体制の 改革に向けた意識調査依頼 AMR アライアンスジャパン	
11月7日	都道府県災害対策マニュアルについてのアンケート調査依頼	日臨技

以上について報告。

#### 4. 学術部報告

##### 栗林学術部長より報告

##### ●班長班員会議について

2023年1月21日（土）開催の予定

##### ●次年度合同勉強会の開催について

・次年度については開催の予定で検討を開始。  
ただ1泊の開催ができるかは調整中。1泊が無理でも1日開催も視野に検討中。

##### ●生理機能検査室での感染対策に関するアンケート調査について

アンケート調査へのご協力有難うございました。  
50施設に調査を依頼、その内27施設から回答が得られた。  
本調査については和歌山学会での発表と会誌和臨技へ論文投稿の予定。

田中会長より質問

→回答施設が 27 施設と、配布施設の約半分が回答頂けということですね。

栗林学術部長

→会員数が 1 人や 2 人などの施設からの回答が得られていない状況です。

神藤副会長より質問

→和歌山学会、会誌和臨技にてアンケート報告とのことであるが、参加させられない方への報告はどのようにされますか？

栗林学術部長

→学会、会誌はもちろん、回答頂いた会員施設へ直接の調査報告を行う予定です。

## 5. 経理部報告

報告事項なし

新年度予算案の作成準備をお願いします。

## 6. 各種委員会報告

### ① 公益事業活動

秋田理事より報告

全国「検査と健康展」の開催結果報告（詳細は報告書参照）

【開催日時】 令和 4 年 10 月 29 日(土) 10 : 00 ~ 16 : 00

【開催場所】 イオンモール和歌山 3F イオンホール

【開催運用】 医師の招聘は行わず、臨床検査技師のみで運用する

【開催 テーマ】 とにかく興味を持ってもらおう!

【注意事項】 模型を用いた検体採取は鼻腔からの採取に限定

【結 果】

来場者数 : 114 名

【今後の課題】

●イオンモールでは営業時間内に荷物の搬出入ができないため、可能であれば集客が見込め且つ営業時間内でも荷物の搬出入ができる施設を模索する。

●臨床検査技師養成校ブースへの立ち寄りが少なく、案内パンフレットがすべて残っていたので、配置場所や PR 方法の工夫が必要である。

●臨床検査技師の仕事紹介 DVD は 10 年以上更新されていないため、日臨技へ要望したい。

●会場入口での積極的な呼び込みが禁止されているため、看板だけでなくモニタを設置して、視覚に訴えて集客できるような工夫をしたい。

●検温装置の調子が悪く、途中で撤去したため、事前に確認する必要がある。

久保事務局

→現地へ参加させて頂いて、エコー体験の寒天模型等非常に工夫された企画がありました。是非、和臨技会員へも伝達頂ければと思います。

また、卸業者さんのご協力が非常にあったように思います。なんらか、技師会からの御礼は必要ないでしょうか。

秋田理事

→今回の開催内容については、日臨技へ活動報告としてあげる予定ですのでそこに盛り込まれます。エコーについては、寒天模型作成方法と実際のエコー画像を保管しております。

田中会長

→卸業者さんへの御礼の件については、私が以前の健康展に関わっていた時から非常に協力的なのですが、御礼については拒否されておりました。担当者レベルではそのようになってしまうのかもしれないので、会社側へ御礼状等を含めた対応も検討する必要もあるかもしれません。また集客に関して費用はかかりますが、ビラ配りについても検討しても良いかもしれません。

## ② 定款・渉外 報告事項なし

## ③ 災害対策委員会 大前理事より報告

・県内施設災害時連絡網による訓練開催について

開催日は2022年11月14日(月)

今年度より訓練の運用にGoogleスプレッドシートを活用する予定である。

・災害フォーラム2022開催について  
「災害医療と臨床検査」

日時：令和4年12月11日(日) 13:00~15:30

場所：フォルテワジマ 小ホール

1.「和臨技 県内施設連絡網訓練を振り返って

～ 過去6年間のまとめ ～

紀南病院 中央臨床検査部

大前 嘉良 理事

2.「臨床検査の災害対策 — 災害時も検査を止めないために —」

東京医科大学病院 中央検査部技師長・副部長

上道 文昭 先生

#### ④ 精度管理委員会

中尾理事より、精度管理調査に関する進捗報告（詳細は別紙参照）

- ・参加状況は最終 47 施設（昨年と同数）

令和4年度（第35回）和歌山県臨床検査技師会  
臨床検査精度管理調査 年間予定表

日程	内容
10/17（月）	精度管理調査願い各施設発行、施設別報告書JAMTQCシステムUP
11/8（火）	精度管理調査願い回収期限
2/14（火）	報告書JAMTQCシステムアップロード公開
2/15（水）	和臨技HPへ報告書アップロード公開
第42回和歌山学会 前日	精度管理報告会

- ・精度管理調査願いについて

33 施設に対して調査願いを発行

11/12 時点で、回収率 100%

- ・精度管理報告書作成

会長へ報告書冒頭への挨拶文作成をお願いします。

2023 年 1 月 19 日に報告書完成の予定。その後理事各位へ査読依頼をいたしますのでご確認よろしくをお願いします。

- ・審議事項提案内容

本年度予算にて精度管理報告会開催時の担当者交通費の計上ができていなかった分について審議願います。

森下理事より質問

→本年度精度管理の施設別報告書について、初回掲載時のダウンロード資料と 11 月 11 日再度ダウンロードした資料の生理検査 1 ページ目の文言が改定されていたのですが、これはお知らせの周知はあったでしょうか？

中尾理事

→その部分について、文言が昨年のものであることが判明した為、急遽差し替え作業を実施しました。ただ、昨年の文言そのままの間違いでしたので合えて差し替え内容に関しての周知は実施しませんでした。

森下理事

→各施設、施設別報告書については共有する資料ですので些細であっても改定箇所があればご周知をお願いしたいです。

中尾理事

→承知しました。以後気を付けます。

田中会長

→是正報告書について質問ですが、相変わらず血液型に関しての是正対象施設が散見されますがこちらについて何か動きはございますか？

中尾理事

→確かに例年通りの状況です。内容詳細については葛原理事よりご報告願います。

葛原理事

→部分凝集に関しては、昨年 11 施設から今年は 4~5 施設に減少しており、こちらは改善傾向とみています。ただ、本年度より Rh(D)式血液型について Rh コントロールを用いていない施設については C 判定とする基準を採用したことで、これにより血液型是正の件数が増加したと考えております。

秋田理事

→あくまで Rh コントロールを使用していない事により、C 判定となった施設が多いという認識でよろしいでしょうか。

葛原理事

→はい、Rh コントロールを使用していないことはもちろん、Rh 判定の結果内容の不備についても C 判定としております。

秋田理事

→ただ、やはり Rh コントロールを使用していないのは施設自体で購入していないことが原因かと思われるので、コストもかかることですので直ちに全て改善することは難しいかもしれませんね。

葛原理事

→難しい面はあると思いますが、Rh コントロールを使用しないことによる影響（寒冷凝集や自己抗体による誤判定など）は大きいと考え、今回の判定基準を採用としております。今後、なぜ Rh コントロールが必要なのかも含め報告会・勉強会等での会員への説明を行っていきたいと思います。

## ⑤ 会誌編集

### 橋本理事より報告

- ・ 会誌への賛助会員広告募集について事務局より発送済み
- ・ 学術活動調査、投稿募集についても会員へ発送済み
- ・ 和臨技オリエンテーション参加者数名に投稿依頼を手配済み
- ・ 投稿募集は 12 月 12 日（月）締め切り



## ⑥ ホームページ

### 山本理事より報告

- ・委員会名簿等の更新 11/11 に対応済み
- ・会報の掲載  
担当葛原理事へ、会報のデータ PDF を頂ければ対応いたします。

## ⑦ 会報

### 葛原理事より報告（詳細別紙参照）

令和4年度 WAMT 会報 前期分を 10/24 頃より会員へ発送しました。

- ・皆様のご協力賜り編集を完了することが出来ました。御礼申し上げます。
- ・一部不適切な編集箇所がありましたことお詫び申し上げます（対象理事には個別に謝罪いたしました。）
- ・次回は令和5年3月発刊を予定しておりますので、会務中の写真やご寄稿の依頼、発送等引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

#### 次号以降の改善点

- ・フォントが大きいとの申し入れがありました。
- ・発行が遅かったため、以後早めに取り掛かります。

### 神藤副会長

→事務局担当の経験からですが、施設名等の表記が間違いやすい部分ございますので確認をお願いします。

## ⑧ 月例行事予定表

報告事項なし

## 7. タスク・シフトシェア指定講習会

### 森下理事より報告

- ・第2回講習会開催報告（別紙資料参照）  
2022年10月30日（日）開催決定  
場所：和歌山商工会議所  
受講人数 49名（申込51名・欠席2名）  
その他： 10月17日、日臨技より10月20日までに参加が50名に達しない場合は開催延期か中止と電話連絡あり。その時点では49名の申込であった。各施設での声掛けと、会長からのメールにより参加申し込みが51名となり、無事開催となった。

- ・第3回目（田辺市）  
2023年4月9日（日）開催決定  
場所 和歌山県立 情報交流センター ビッグ・ユウ

【和歌山県内（2022年11月3日現在）】

- ・指定講習会修了者 111名／和臨技会員415名中
- ・実技研修事前基礎研修 履修済み 45名  
受講中 68名

神藤副会長より

→引き続き各施設講習会への参加についてのお声かけをお願いします。

10月の開催については、一部会員から「運動会シーズンのため参加が難しい部分があるのでは」との意見も頂いておりますので、そちらもまた次回以降の開催日検討の際にご調整をお願いします。

**8. 第42回和歌山県医学検査学会**

テーマ「原点回帰」 ～新天地への再始動～

会場：ホテル浦島 現状現地開催の予定

会期：令和5年2月26日（日）

学会長：田原副会長

実行委員長：くしもと病院 亀井技師

事務局：葛原理事

- ・前回の理事会で、各事業報告において、口頭報告のみではなく、資料を貼付するように注意があったが、担当者が体調不良のため出席もできない状態であったためか、今回も資料提示がなかったため学会事務局長に注意喚起を行った。

- ・学会の開催内容について

以下の質問事項があった。

①学会懇親会の広報方法について、懇親会を開催する場合、感染対策など記載がないがどのように再度広報するのか？

②学会日程や企画説明が理事会でないため、現在の進捗状況はどうなっているのか？

葛原和学会事務局長に、和学会の中で協議して回答して欲しいと依頼を行った。

## 9. 第62回近畿支部学会

### 神藤副会長より報告

会期 令和5(2023)年10月21日～22日

会場 アバローム紀の国、和歌山県民文化会館

- ・ 対面方式での開催
- ・ 3団体共同開催
- ・ ランチョン、展示開催の可否
- ・ 予算案の確認
- ・ メイン会場の選定

詳細については議事録参照

### ●三役会議報告

- ・ ちらし 制作・発送スケジュールについて
- ・ 学会ホームページ制作スケジュールについて
- ・ 趣意書について

以上について本日の実行委員会にて検討の予定。

前回までの決定事項、進捗確認

- ・ 抄録については電子化対応
- ・ 広告についても電子化対応の予定  
(メーカー側も電子化の方が好印象?)
- ・ 会場の割り当てについては資料参照
- ・ 日衛協との話し合いが現在未定
- ・ 医会 古田先生とは交渉済み
- ・ 120～140題の演題数を想定したスケジュールリング
- ・ アバローム紀国 羽衣の間 60人までの会場となる為、割り当てに注意。
- ・ 機器展示は30社を目標

秋田理事より

→ポスター案 3案のサンプル頂いているが、この3つから絞り込むので良いか?

神藤副会長

→3つの中からの絞り込み以外に、良い部分を選択することも可能かと思えます。

## 10. その他

### ●栗林学術部長より

会議時間があれば、タスクシフト講習会の次回以降開催日の検討をしてみても如何でしょうか?

→次年度は近畿支部学会開催に伴い、和歌山学会の開催がないので2月開催などもありえるか？

会員の履修状況にも左右される。

次年度和臨技年間スケジュール確認と共に、次回4月の第3回講習会までに日程調整を行うことで一致。

秋田理事

→会場費等を抑制した状況での、開催人数60名以下での開催実施は困難でしょうか？

田中会長

→この件については、次回の支部幹事会にて提案をしてみます。

#### 審議事項

#### ●精度管理報告会行動費について

本年度予算にて精度管理報告会開催時の担当者交通費の計上ができていなかった分について審議願います。

#### (審議事項まとめ)

前年度までのWeb開催前提での予算立てになっていたことによるもの。追加予算として対応することで一致。

#### 事務局より追加報告

#### ●令和5年度事業計画案・予算案作成依頼

常務理事より各担当理事へ連絡が入りますので作成をお願いします。

(参考用に令和4年度提出分も添付しております)

事務局までの提出締め切りは11月28日(月)とさせていただきます。

記録作成	令和4年11月23日	氏名	久保 光史	提出	令和4年11月24日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可